

# はまなす

公益社団法人 北海道看護協会  
札幌第4支部だより

■発行所：公益社団法人 北海道看護協会札幌第4支部 編集責任者 中川千江子

HOKKAIDO NURSING ASSOCIATION **HAMANASU**



## Contents

- 令和5年度 札幌第4支部 支部長挨拶
- 令和5年度 札幌第4支部 新役員紹介
- 令和5年度 札幌第4支部 委員会紹介
- 令和4年度 札幌第4支部 大会報告
- 医療安全研修・交流会 講演 岸田 直樹 先生
- 会員募集 他



令和5年度  
札幌第4支部

# 支部長挨拶

## ご挨拶

支部長 中川 千江子



春の日差しが心地よい季節となりました。札幌第4支部会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症との付き合いが始まって4年目を迎えた令和5年、いよいよCOVID19は5月から5類感染症の扱いとなります。医療・介護を提供する看護職は、健康リスクの高い方たちに接するため、たくさんの制約や困難を経験した3年間だったと思います。会員の皆様におかれましても、ご自身や家族の生活様式、看護の提供体制等々、様々な変化に対応する困難さがあったので

はないかと拝察します。そのような中、支部活動にご理解、ご協力、ご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。たとえ5類になっても（感染の動向をみると）どうやらしばらくは「withコロナ」の対応が必要そうです。それでも「やっと！先が見えた！」と喜ばしい気持ちになっているのは私だけではないと思います。

実はここ最近、私が気になっていることがあり、それは「何となく」モチベーションが下がっている看護職の存在です。（いませんか??）「何となく（看護は）もういいかな、と思って」とか「何となく、やる気がおきない」「なんか辞めたい」とか……。実際、看護の道から離れる人も見てきました。（えっ、いませんか??）彼ら彼女らから話を聞くと、これといった理由はなさそうなのです。強いて言えば「ここ数年の様々な生活様式の変化により、ストレス発散の機会が減った」ことや、「看護の提供体制の変化（患者との関り方の変化）」や「孤独感（同僚や先輩との交流の減少）」が少なからず影響している印象です。（←完全に私の私見です、すみません）。ですので、5類になることでウィルスがなくなるわけではないけれど、適切な感染対策をとれば以前の生活に戻ることができる、すなわち、少し希薄になった人間関係を回復する、自分を楽しませる生活を送ることができるはずなのです。

というわけで今年度の支部活動は、必要な感染対策を講じながら、でも、少しずつ緩和して日常に戻っていきたくて考えています。今回も各委員会さんが興味深い研修を検討中です。（別紙参照）私たち支部役員、委員会一同、会員の皆様が知識と経験を共有し成長していける、そして、元気な看護職であり続けるための場を提供いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

（支部長 中川 千江子）

## 新役員紹介



支 部 長	中 川 千江子	社会医療法人 母恋 天使病院 看護部
第一副支部長	浅 元 美津子	医療法人 札幌麻生脳神経外科病院 看護部
第二副支部長	市 戸 理 恵	医療法人 溪和会 江別病院 看護部
第三副支部長	高江洲 亜利沙	社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院 看護部管理室
書 記	西 山 直 美	社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院 外来・救急
書 記	伊 藤 円	札幌保健医療大学 保険医療学部看護学科
会 計	樽 見 あずさ	社会医療法人 母恋 天使病院 看護部
会 計	高 橋 美 佳	国立大学法人 北海道大学 北海道大学病院 11-2ナースステーション

## 委員会紹介

### 保健師職能委員会



委員長	廣 瀬 芳 江
書 記	中 元 裕美子
会 計	宮 森 明 美
	小 澤 涼 子

### 助産師職能委員会



委員長	春 木 綾 子
書 記	板 垣 亜由美
会 計	西 野 小夜香

### 看護師職能委員会



委員長	長 田 靖 子
書 記	花 田 未希子
会 計	八木橋 まり子
	室 田 ちひろ
	吉 岡 尚 美
	竹 内 優 子

### 推薦委員会



委員長 小山内 仁 朗  
書記 本 間 賛  
会計 鈴木 将 裕  
西 田 貴 子 福 井 純 子

### 広報委員会



委員長 川 原 由佳子  
書記 上 野 美 音  
会計 秋 山 澄 恵  
小 原 路 子

### 教育委員会



委員長 澤 本 枝 里  
書記 三 上 裕 子  
会計 種 市 愛  
信 田 佳 那 川 口 陽 子  
寺 内 諒 工 藤 愛 菜  
小笠原 朋 美

### 働き続けられる職場 づくり推進委員会



委員長 石 井 輝 子  
書記 守 谷 千恵子  
会計 佐 藤 夏 恵  
曾 根 鉄 矢 佐々木 加奈子  
秋 川 奈美恵

## 令和4年度 札幌第4支部 支部大会報告

令和4年度支部大会は新型コロナウイルス感染を考慮し、役員と委員のみが参集する形式で開催しました。事前に会員の議決権を郵送で依頼し、議決権行使書は、172枚、議決にあたる定数を確認いたしました。議案等はありませんでした。

選挙の開票結果をお知らせさせていただきます。投票数は、172票、うち有効数159票、無効数13票でした。新役員の信任数は、支部長：中川千江子さん159票、第2副支部長：市戸理恵さん158票、第3副支部長：高江洲亜利紗さん157票、書記：伊藤円さん158票、会計：樽見あずささん158票、高橋美佳さん157票でした。なお、役員・委員・北海道看護協会代議員・予備代議員の氏名・施設の誤表記がありました。誠に申し訳ありませんでした。

支部大会は滞りなく終了し、大会後に医療安全交流会が開催されました。

## “感染症”はこれからどうなると予測されているのか？

コロナのこれまで、とこれから そしてサル痘・AMRへーパンデミック時代の到来にどう向き合うか？ー



### 講演 岸田 直樹 先生

総合診療医／感染症コンサルタント (MD, MPH, PhD)、北海道科学大学客員教授、東京薬科大学客員教授 (臨床推論)、札幌市危機管理局参与、札幌市医師会アドバイザー、一般社団法人 Sapporo Medical Academy (代表理事)、京都大学客員研究員 (西浦研：感染症疫学、人口学)



岸田先生は、道内で一例目の新型コロナウイルス感染症の患者を診断するなど、流行の当初から関わっておられ、また札幌市の感染症対策にも大変ご尽力を頂いています。

北海道、特に札幌市は100万以上の都市では豪雪世界一位であり、感染症の流行の最先端かつ最難関の都市になります。しかしながら、ワクチン接種や治療薬といった医療の進歩により、重症化する割合は大きく減少しました。オミクロン株BA.5流行下で、酸素が必要になる若年成人は、今は2,000人に1人です。また70歳以上の高齢者もワクチンの3回接種重症化予防効果は56.7%、4回接種者では77.1%です。更に、65歳以上陽性者における2価ワクチン重症化率は、従来のファイザーワクチンと比べてオミクロン用のは重症化割合が低く、BA.1で50.9%が、BA.4/5のものでは82.9%の重症化予防効果が出ています。では今後、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザ相当の対応になって

いくのでしょうか？現在では、風邪やインフルエンザのような経過の人が増えていて、大切なのはセルフメディケーション。自分の年代に出やすい症状、その症状の為に薬の準備、そのために薬局などで薬剤師に相談し購入しておく事が大切になります。

近頃は、サル痘や梅毒の急増が報告されていてその原因は①気候変動、②人口爆発（但し、日本は過去最少）、③LGBTQ+の影響が大きいようです。地球温暖化によって動物が食料と涼しい気温を求め新しい生息地に移動せざるを得ない状況が背景にあり、新しいウイルスが人獣共通感染症として人々へ認知されていきます。

また、薬剤耐性 (AMR) のMRSAのような再興感染症も世界的脅威であり、感染症の脅威は、新興感染症だけではありません。

日本は、少子高齢化で医療の利用が増え、全労働力が不足となります。更なる未来に向けて私たちは、その時々状況に応じて“かわる”必要性があるでしょう。そして時代に沿った医療を提供していくことが求められていくのではないのでしょうか。



※ ご講演いただいた岸田先生においては、代表理事を務めるSapporo Medical Academy のプロジェクトが厚生労働省第4回「上手な医療のかかわり方アワード」において厚生労働大臣賞最優秀賞を受賞しました。  
受賞おめでとうございます。



## 会 員 募 集

北海道看護協会札幌第4支部では、看護の質の向上をめざした活動や事業を行っています。また、看護職を取り巻く環境が大きく変化している今、多岐に渡る研修が準備されています。研修に参加して友達の輪を広げましょう。入会は、右記までご連絡ください。

**連絡先** 北海道看護協会総務課

**電 話** 011-863-6731

**会 費** 16,500円

## 募 集 中 の

### 表紙写真

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品・ペット紹介など、なんでもOKです。

## テ ー マ

### 施設紹介・スタッフ紹介

自薦他薦かまいません（写真数枚、本文400字程度）

## 連絡先

札幌第4支部 広報委員会  
北海道大学 保健センター 川原 由佳子  
Email: yuka2016hoken@gmail.com

## 編集後記

今年度よりペーパーレス化に伴い、発行を年4-5回へ充実する予定です。宜しくお願い致します。

公益社団法人北海道看護協会ホームページはこちら

<https://www.hkna.or.jp/>

